

指導日時・教室 2018年6月8日(金) 5限目 教室名 LAN教室  
対象生徒・集団 普通科 1年8組  
科 目 名 社会と情報 (単位数 2 )  
使 用 教 科 書 新・社会と情報 (出版社名 日本文教出版)

1. 単元名 知的財産と保護② ワープロの実習

2. 本単元について

(1)教材観

現在、音楽活動をしている人、いわゆるアーティストは自身で作曲する人もいれば、別の人気が作曲する場合もある。その場合、アーティストが実演することも創作活動と考えられる。これを著作隣接権という。

著作権には、著作権が及ばない場合がある。私的使用のための複製、引用、教育機関における複製、非営利目的の演奏などがあげられ、個人の適切な判断が重要である。

Word の実技は、表の挿入、画像の挿入など基本の部分なので覚えることが大事である。

(2)生徒観

1年8組のクラスの雰囲気は、とても静かである。先生の話も聞いており、プリントの穴埋めもしっかりと埋めていた。実技の方では、早く進む生徒とそうでない生徒と個人差があると感じた。座学の方をスムーズに進め、実技に時間をとり、全員が課題を終わらせるができるよう授業展開をする必要がある。

(3)指導観

著作隣接権では、実演者にも創作活動があることを伝える。また、著作物を利用する場合、著作権が及ばない時もあるので例を交えながら丁寧に説明する。また、一方的に授業を進めいくだけでなく、発問も入れる。パワーポイントのスライドを変えるときは、プリントを記述しているか確認をとり、実技のときは、次の作業をする前にできているかを確認して遅れている生徒を出さないように授業を進めていく。

3. 単元の目標

- ・知的財産権とその保護の目的を理解する。
- ・著作物の取り扱いについて理解する。

4. 本時のねらい

- ・著作物を著作者の許諾を得なくても利用できる事例や著作権が及ばない場合、著作物利用の実際について、どのような状況があるか把握する。
- ・文章処理ソフトウェアを使ってレポートを作成する。その際に必要となる知識や技術を身

につける。

### 5. 準備物

- ・授業スライド
- ・ワークシート
- ・教科書

### 本時の評価基準

| 関心・意欲・態度   | 思考・判断  | 技能・表現   | 知識・理解  |
|--|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントの穴埋めができる</li> <li>・問い合わせに関して関心を持っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権の及ばない場合について判断できる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・表や画像が挿入できる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権が及ばない場合について説明できる</li> </ul> |

### 本時の展開

| 時間        | 生徒の活動・反応  | 指導上の留意点  | 評価  |
|-----------|---|--|---|
| 導入<br>3分  | 復習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・知的財産権を細かく確認する</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の授業のスライドを交えながら説明する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・問い合わせに関して関心を持っているか（関心・意欲・態度）</li> </ul> |
| 展開<br>17分 | 著作隣接権の種類 <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作隣接権と実演家人格権を理解する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作者とは別の権利があることを伝える。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントを記述できているか（関心・意欲・態度）</li> </ul>      |
|           | 著作権が及ばない場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの例が出るので理解する</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・4つの例は教科書 p.34 を参考に説明する。</li> </ul> |   |

情報科学習指導案  
学校名 [REDACTED]

授業者  
指導教員 [REDACTED]

|           |  |   |   |
|-----------|--|---|---|
|           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・私的使用のための複製</li> <li>・引用</li> <li>・教育機関における複製</li> <li>・非営利目的の演奏</li> </ul> <p>著作物利用の実際</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽著作権管理団体の役割を理解する</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・盗作との違いを説明する</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽の著作権はどのように管理されているか考えさせる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権の及ばない場合について判断できる(思考・判断)</li> </ul> |
| 展開<br>27分 | <p>「図書館のお知らせ」を完成させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先週の復習</li> <li>・表の挿入ができる             <ul style="list-style-type: none"> <li>・表に文字を入れる</li> <li>・表に色を付ける</li> </ul> </li> <li>・画像の挿入ができる</li> <li>・テキストボックスの挿入ができる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・表を説明する際に行と列の説明をする</li> <li>・オンライン画像を使って説明する</li> <li>・わからないとき、生徒が聞きやすい雰囲気にする</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・表や画像の挿入ができる(技能・表現)</li> </ul>         |
| 連絡<br>3分  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回連絡</li> <li>・パソコンをサインアウトする</li> </ul>  |   |   |